県教育長 吉良質問に 一転してパワハラ認める

●3月1日、議員生活最後の代表質問に立ちました。教育実習生からの告白を受けて一年以上もパワーハラスメントとして認めない県教育長に実習校での実態を示し、パワハラと認めるよと強く迫りました。この追及に長岡県教育長はそれまでの姿勢を一転しパワハラを認める答弁を行いました。

しかし、本人にそのことを伝えず謝罪もしていない不適切な事実、また、調査と決定過程に疑義があり検討課題であると指摘。また、労基法違反ともいえる超長時間勤務を実習生に課していた実態を調査するよう求め、教育長は調査すると答えました。

●3月6日、実習生と記者会見に臨みました。実習生は、謝罪と不当な実習成績評価の見直しなど不利益の速やかな回復を求めていく考えを述べ、パワハラは自分で最後としてほしいと、会見に臨んだ決意を語りました。

知 13版S 2023年(令和5年)3月7日(火)

教育実習生にハラスメント

21年高知南高 県教委認める

会見で大学生「夢あきらめた」

記者会見した女子大学生(左)＝高知市丸ノ内1丁目

実習の成績の見直しなどを求めた。

パワハラ「教員の夢諦めた」

高知南高 実習中被害 学生会見

2021年に県立高知南高校（高知市）で教育実習中、当時指導を受けた男性教諭からパワーハラスメントに遭ったという女子学生らが6日、県庁で記者会見を開いた。教員になる夢を断たれたとし、「つらい思いで夢を諦めるのは私で最

南高パワハラ「謝罪を」

被害実習生 会見で訴え

高知南高校の男性教諭が

教育実習パワハラ被害

高知 教員断念の大学生が会見

県教委に謝罪要求

2021年に県立高校で行った教育実習で指導教官や周辺の教員から深刻なパワハラ被害を受けた大学生と家族は6日、高知県庁で記者会見し、事実経過や学校、県教委の対応などを報告しました。大学生は心療内科を受診する事態になり、教員になることを断念しました。県教委はパワハラの事実を認めてきませんでしたが、1日の日本共産党の吉良富彦県議の本会議質問に、長岡幹泰教育長がパワハラの事実を認めました。

被害者の大学生は「今回のことで夢をあきらめざるをえなくなりました。この苦しい思いをするのはもう私で最後にしたい。もう二度と夢をあきらめてしまう方が出ないよう事実をお伝えするべきだと思った」「パワハラを行うことも、それを見て見ぬふりをし隠ぺいしようとする環境も徹底してなくしていただきたい」と語りました。県教委に報告と謝罪、パワハラの環境下での実習の成績評価の再検討を求めました。

会見には吉良県議が同席しました。

母親＝6日、高知県庁

一斉に6日の会見を報道した7日付新聞各紙。

●お忙しい中、代表質問の傍聴に駆けつけてくださり、本当にありがとうございました。思いもよらず、今までお世話になった皆さんから花束など贈り物をいただき驚き、感無量でした。ある方からは、ねぎらいの言葉とともに、「はた愛市議に県議会議員のバトンを渡して有終の美を飾りましょう」とのメールもいただきました。22日の閉会日から投票日迄24日間です。